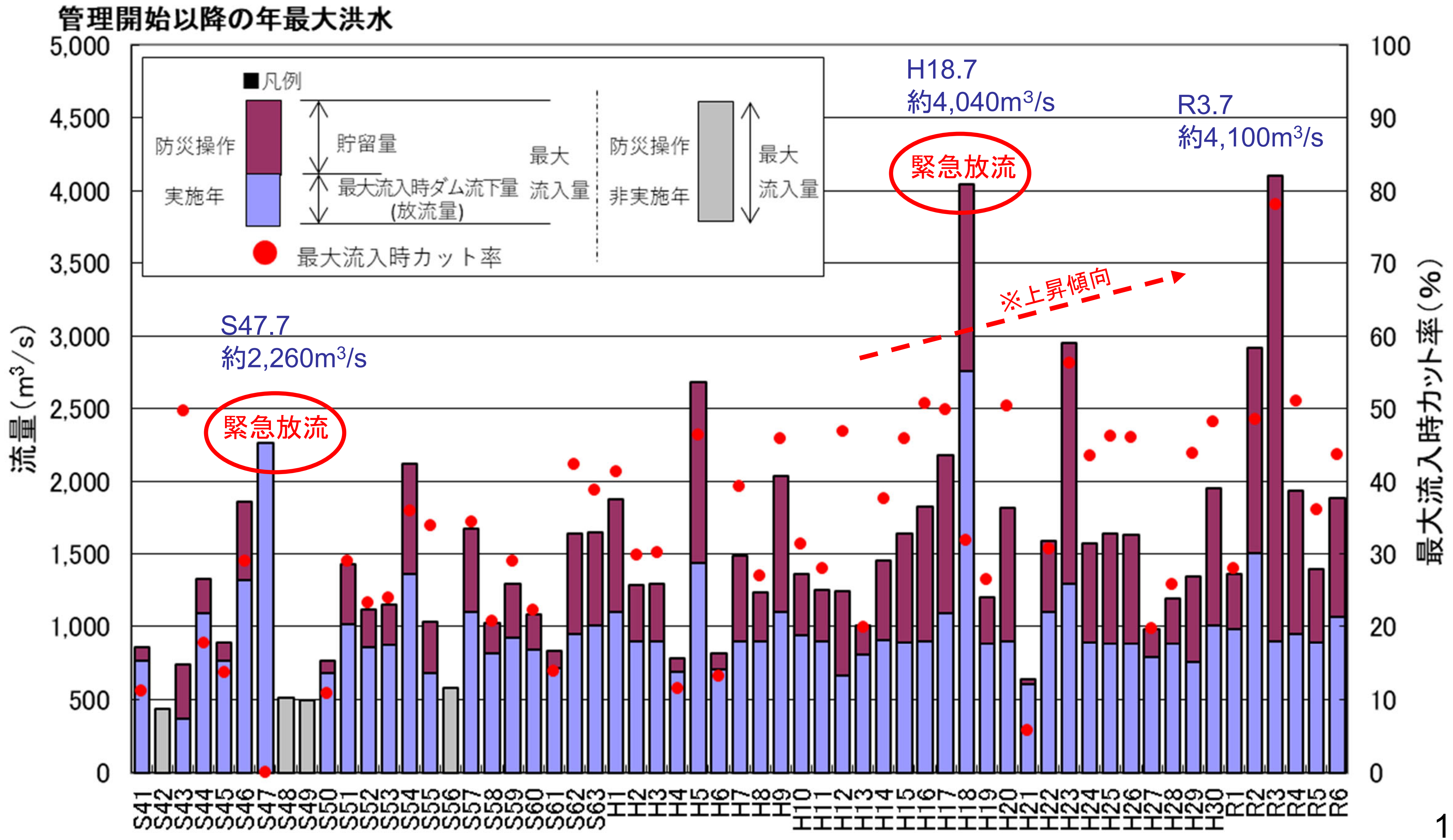
資料1

４－１）令和6年度　鶴田ダムの出水対応

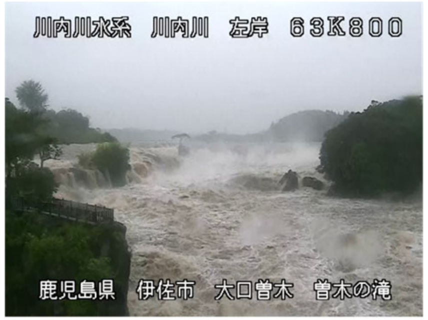
鶴田ダム　年最大流入量　経年図

〇令和6年度は、5月から9月にかけて、9回の洪水調節を実施。
〇年最大流入量は、8月の台風10号において約1,880m³/sを記録。
※平成18年7月、令和3年7月に流入量4,000m³/s規模の大きな流入量を記録。



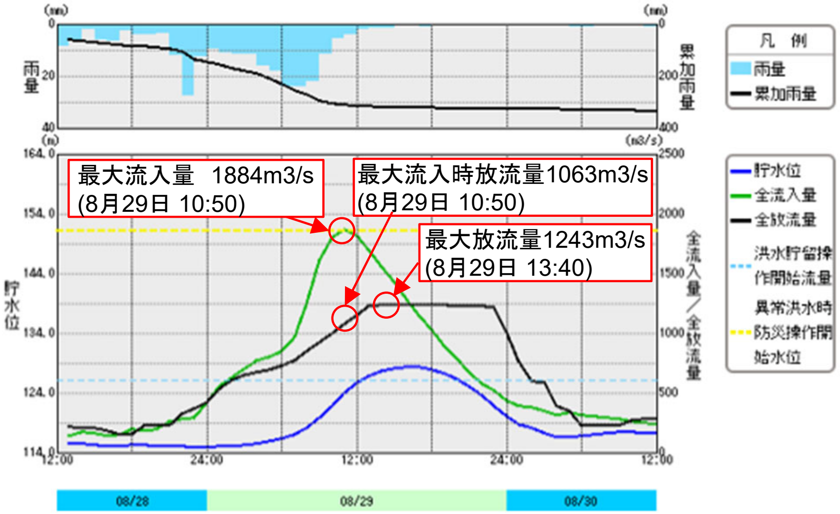
防災操作の効果（８月 台風１０号）

〇台風１０号に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、８月２７日～８月２９日までの総雨量は３２８mmを観測しました。
〇鶴田ダムでは、２９日１時５０分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
〇ピーク流入量は約１８８０㎥/sを記録しその際ダムにより約８２０㎥/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
〇鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、避難判断水位（６．４０ｍ）を上回る６．５４ｍに達していたと想定され
　ダムの洪水調節によって約０．９４ｍ水位を低下させせたと推定されます。



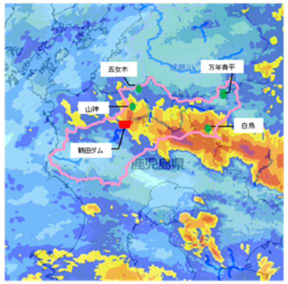
ダム上流「曽木の滝」の状況（29日11時00分頃）

ゲート放流状況（29日11時00分頃）



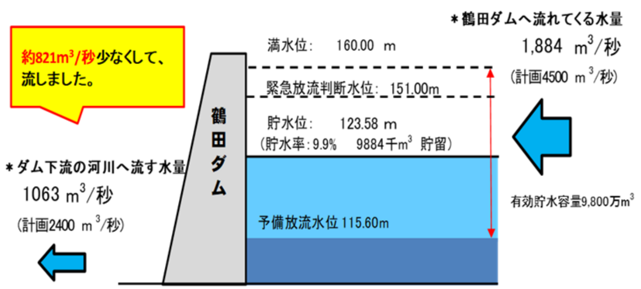
◆ 降雨の状況

鶴田ダム上流域の主な観測地点の雨量 〔8月27日1時～8月30日0時〕		
所在地	観測所名	観測値（累加） mm
宮崎県 えびの市	白鳥 （しらとり）	680.0
鹿児島県 伊佐市	五女木 （ごめき）	193.0
宮崎県 えびの市	万年青平 （おもとだいら）	414.0
鹿児島県 伊佐市	山神 （やまのかみ）	259.0
鶴田ダム上流域の平均累加雨量		328.5

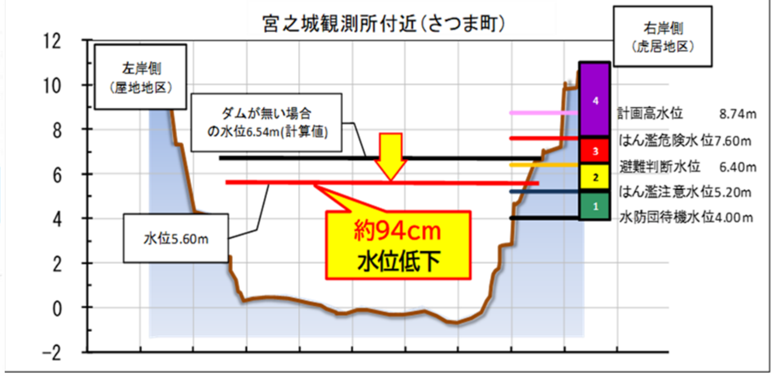


国土交通省統一河川情報システム
現況レーダ雨量：8月28日 22時00分

◆ 鶴田ダムの状況 （8月29日10時50分 **最大流入時点**）



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果（8月29日9時20分）

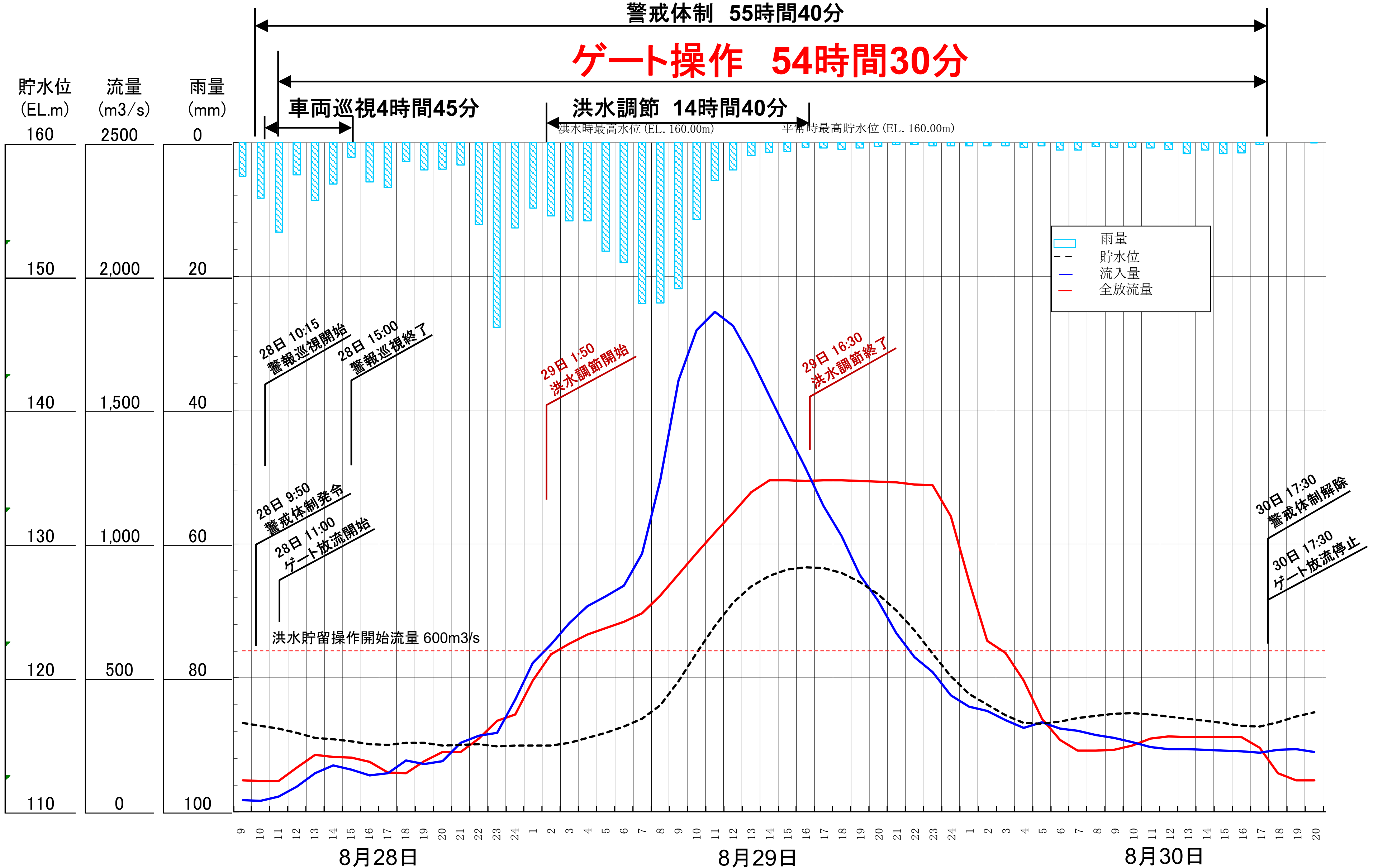


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

台風10号への対応状況

九州地方整備局 Kyushu Regional Development Bureau

○九州南部では、8月28日から30日の3日間で、600～800ミリの大雨が予想。
○鶴田ダムでは、28日9:50に放流に向けた警戒体制（管理所全員体制）に入り、**54時間に渡るゲート操作**による洪水対応を行った。　※26日9:50から注意体制



４－２）情報表示板の見直しについて

①_前回までの流れ

＜背景＞令和3年7月出水を受けて　鶴田ダムでは

○ダムどれだけの水が貯まっているか分かりにくい。
○緊急放流開始の切迫度を捉えるためには、貯水率を監視することが有効。
○ダムの貯水率は、緊急放流の判断となる大変重要な情報。　　　　　　　　　　というご意見を踏まえ、
情報表示板に貯水位、<u>貯水率</u>をリアルタイム（10分ごと更新）に表示する改良を実施。

<u>会議での意見</u>

- ○　貯水率と合わせて、ダムが危険な状況（緊急放流の可能性等）が分かる工夫が必要。
- ○　貯水率50%、貯水位140mの表示は、貯水位が280mまで大丈夫と勘違いされる。
- ○　点いているランプが危険になると点滅する、文字色を変えるなど考えられる。
- ○　事前放流は容易ならざる状況のため、予備放流と表示を使い分けた方が良い。
- ○　管理所で案を出し、住民の意見を聞いて反映させる。

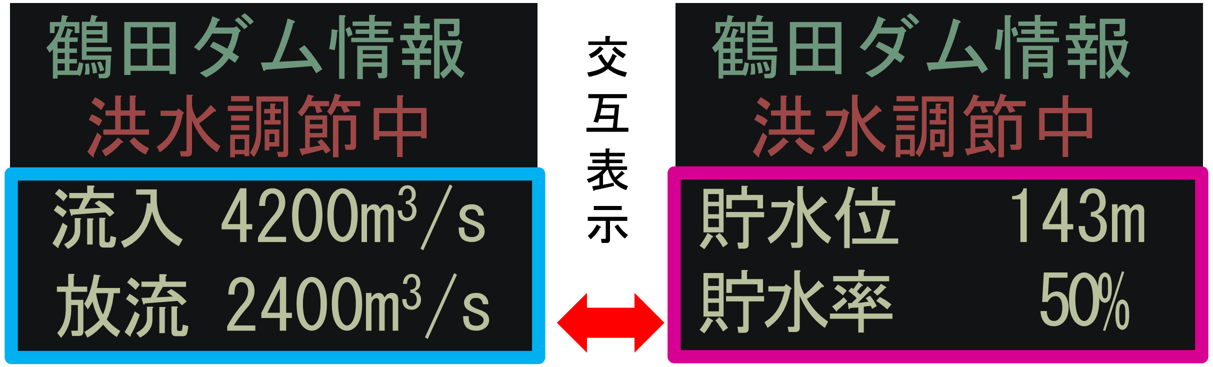
<u>改善内容</u>

＜表示内容等の見直し＞

<u>改善方法</u>

- 文章の見直し
- 　⇒R7出水期より実施（一部）
- 情報表示板の改良
- 　⇒費用、工期等を踏まえ、今後検討

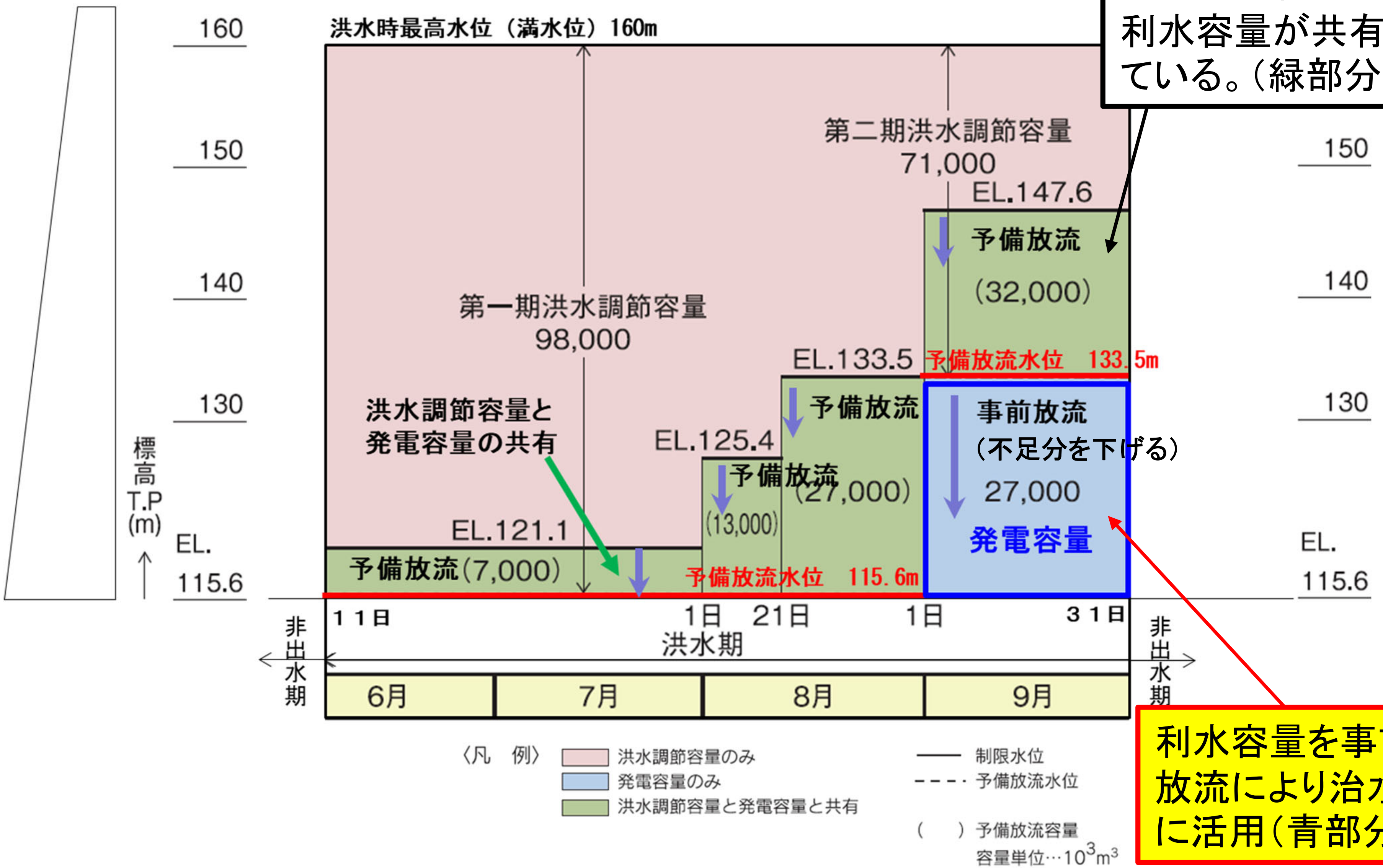
＜情報表示板への貯水率表示（R5年度から実施）＞



①_鶴田ダムの予備放流、事前放流ルール

〇ダム流入量が600m3/s（洪水と定義）の予測がある時、必ず予備放流（緑部分を下げる）を実施する。
（操作規則に基づき実施する。予備放流で7～8月期は有効貯水容量100%、9月期は約70%の洪水調節容量を確保する。
〇9月期においては、基準雨量216mm/12hを超えると、約30%の発電容量部分の事前放流の実施判断を行う。
〇流入量予測を行った結果、治水容量が不足する場合、不足する容量分の事前放流を実施する。

（多目的ダム　予備放流方式のダム例）

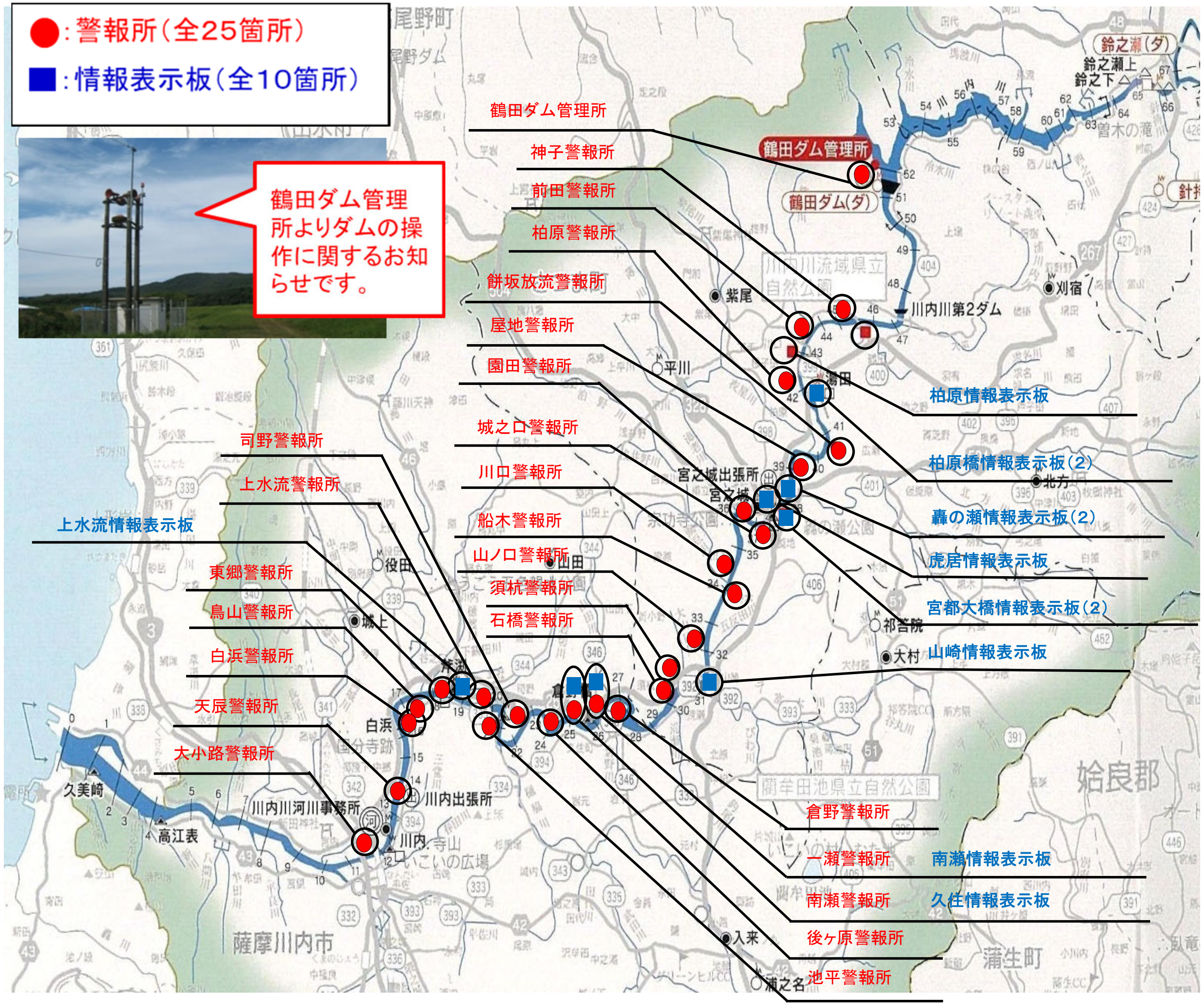


洪水調節容量と利水容量が共有している。（緑部分）

利水容量を事前放流により治水に活用（青部分）

①_情報表示板による周知

〇警報所からのサイレン、情報表示板により放流情報を周知します。



①_現在の情報表示板の表示内容

国土交通省 九州地方整備局
鶴田ダム管理所

〇鶴田ダムおよび下流河川水位に関する情報、自治体からの避難情報を表示します。

鶴田ダム

放流開始前	予備放流中・事前放流中		洪水調節中		緊急放流中
鶴田ダム情報 １４時２０分 放流開始予定	鶴田ダム情報 容量確保中 流入　100m³/s 放流　200m³/s	鶴田ダム情報 ダム放流への 問い合わせ先 0996-59-2030	鶴田ダム情報 洪水調節中 流入　2000m³/s 放流　1300m³/s	鶴田ダム情報 洪水調節中 貯水位　143m 貯水率　50%	鶴田ダム情報 緊急放流中 流入　4000m³/s 放流　2500m³/s

放流開始の1時間前から表示

河川水位

宮之城水位観測所から水防団待機水位を超えてから表示
（さつま町管内の表示板のみ）

河川情報 宮之城観測所管内 レベル１ 水防団待機水位	河川情報 宮之城観測所管内 レベル２ はん濫注意水位	河川情報 宮之城観測所管内 レベル３ 避難判断水位	河川情報 宮之城観測所管内 レベル４ はん濫危険水位

川内水位観測所から水防団待機水位を超えてから表示
（薩摩川内市管内の表示板のみ）

河川情報 川内観測所管内 レベル１ 水防団待機水位	河川情報 川内観測所管内 レベル２ はん濫注意水位	河川情報 川内観測所管内 レベル３ 避難判断水位	河川情報 川内観測所管内 レベル４ はん濫危険水位

自治体避難情報

さつま町情報 11日14時30分 虎居地区 避難指示	さつま町情報 11日14時30分 虎居地区 避難指示解除

（参考）水位の名称

水位危険度レベル	水位の名称等	備考
レベル5	氾濫の発生	
レベル4	氾濫危険水位	河川がはん濫する恐れのある水位
レベル3	避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位
レベル2	氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位
レベル1	水防団待機水位	

回転灯

放流中は赤色１色が常に点灯

①【見直し案】情報表示板の表示内容

これまで

鶴田ダム

放流開始前	予備放流中・事前放流中		洪水調節中		緊急放流中
鶴田ダム情報 １４時２０分 放流開始予定	鶴田ダム情報 容量確保中 流入 100m³/s 放流 200m³/s	鶴田ダム情報 ダム放流への 問い合わせ先 0996-59-2030	鶴田ダム情報 洪水調節中 流入 2000m³/s 放流 1300m³/s	鶴田ダム情報 洪水調節中 貯水位 143m 貯水率 50%	鶴田ダム情報 緊急放流中 流入 4800m³/s 放流 3000m³/s

見直し案

注）既存施設の改造が必要。

【ポイント】

① 容量確保中を、予備放流中と事前放流中に使い分けて表示。 → 事前放流が必要な洪水であることを情報発信
② 貯水位に満水位の160mを追加 （○○m/160mと表示）。 → 貯水率から誤った水位の認識を防止
③ 回転灯を増設し、文字色と合わせてダムの状況を表示。 → 通常の洪水調節と緊急放流を分かり易く情報発信

鶴田ダム

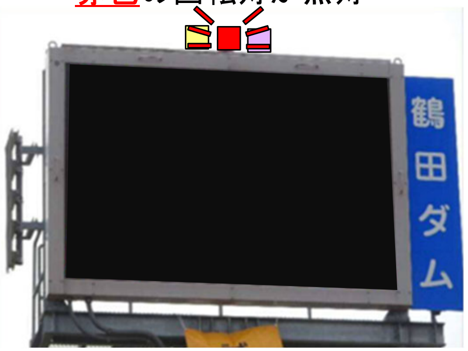
予備放流中・事前放流中			洪水調節中	
鶴田ダム情報 予備放流中 流入 100m³/s 放流 200m³/s	鶴田ダム情報 事前放流中 流入 100m³/s 放流 200m³/s	鶴田ダム情報 予備放流中 貯水位 143m/160m 貯水率 50%	鶴田ダム情報 洪水調節中 流入 2000m³/s 放流 1300m³/s	鶴田ダム情報 洪水調節中 貯水位 143m/160m 貯水率 50%

事前放流の場合は事前放流中

黄色の回転灯が点灯

洪水調節中（緊急放流の可能性）	
鶴田ダム情報 洪水調節中 流入 3800m³/s 放流 2200m³/s	鶴田ダム情報 洪水調節中 貯水位 150m/160m 貯水率 50%

赤色の回転灯が点灯



緊急放流中
鶴田ダム情報 緊急放流中 流入 4800m³/s 放流 3000m³/s

紫色の回転灯が点灯

○下流河川水位に関する情報、自治体からの避難情報は継続実施。

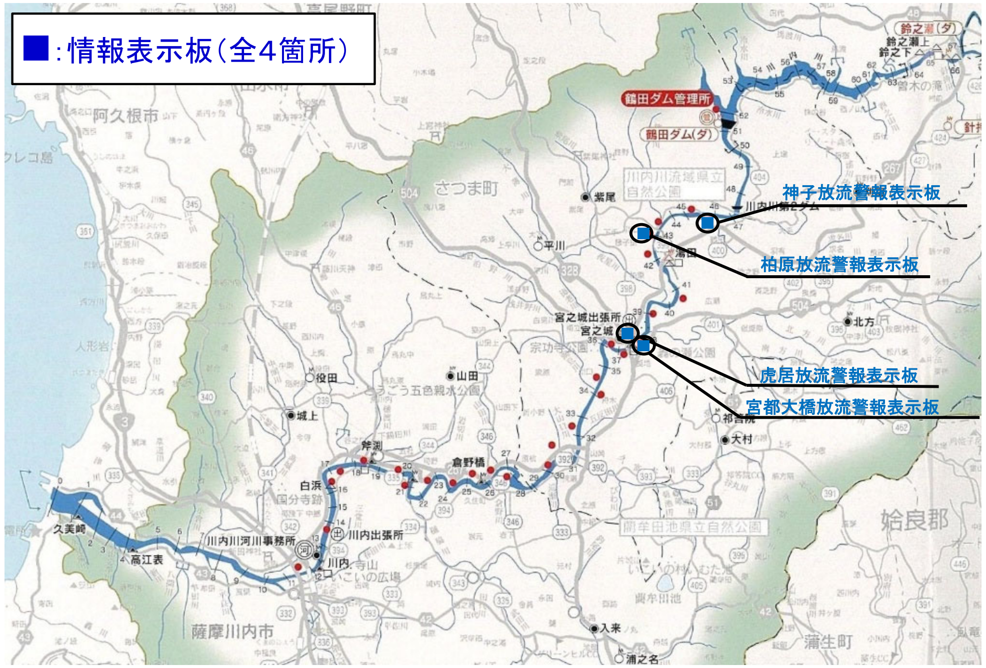
４－３）上水流情報表示板の更新について

上水流情報表示板の更新について

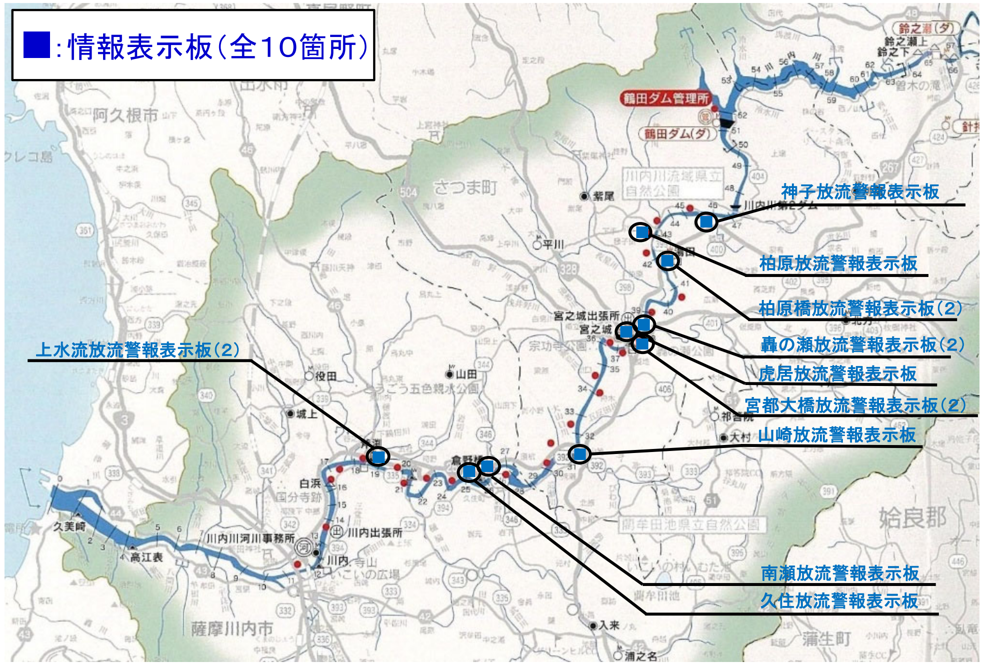
＜背景＞

〇鶴田ダムの洪水調節に関する操作方法及び情報提供のあり方について、様々な視点から意見を聴取し、検討することを目的として、ダム下流住民代表、学識者、報道関係者、ダム下流自治体、河川管理者をメンバーとした「鶴田ダムの洪水調節に関する検討会（※以下、検討会)」を開催しました。
〇検討会を踏まえ、<u>情報表示板の設置個所を4箇所から10箇所に増設</u>しています。

平成18年7月出水時



令和6年度現在



<u>改善内容</u>

劣化に伴い更新となる「上水流情報表示板（2画面）」において、設置当初(平成21・22年)より、居住(地域)や生活状況が大きく変化していると考えられる

表示板の向き等の見直しによる、現在の居住状況に合わせた新たな情報提供範囲を設定

<u>改善方法</u>

現在の居住状況を整理し、表示板の向き等の見直しを行う

上水流情報表示板の更新について

国土交通省 九州地方整備局 鶴田ダム管理所

上水流表示板設置の経緯

出典：鶴田ダム管理所HP:洪水調節に関する検討会
（https://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/torikumi/kouzuichosetsu_kentoukai.html)

日　付	表示板設置の経緯　　青字：住民ご意見、黒字：対応
平成19年1月16日 鶴田ダムの操作に関する打合会	・情報表示板の箇所数を増やしてほしい。
平成19年4月26日 第4回検討会	・住民への情報提供に伴い、4箇所に情報表示板を設置（新設） ・東郷町の東郷橋の付近に情報板が欲しい ・情報板を両面表示にしてほしい
平成19年12月26日 第6回検討会	・情報表示板の設置位置、向き（両面も含む）等については、 その目的も含めて検討中
平成20年6月5日 第7回検討会	・上水流外はH20年度以降設置予定
平成20年11月25日 第8回検討会	・上水流外は、H21．3月までに設置
平成21年5月26日 第9回検討会	・上水流を含む、3箇所の情報表示板(両面)について、設置完了

検討会等で位置や向き等の意見を頂きながら検討

➡ これまで検討及びその対応により、**現在では計10箇所の情報表示板**を整備・運用を行っている

上水流情報表示板の更新について

現状

上水流(上流・下流)
情報表示板

主に、川内川の上流・
下流の2方向に向けて
情報提供を行っている

設置目的

流域の河川利用者及び周辺住民等に対してダムからの放流に伴う流水状況の著しい変化による危険の警告を行うため

令和5年版_電気通信施設設計要領・同解説(通信編)より、抜粋

情報提供範囲

河川の周辺に人家が密集している所、河川敷地内に遊園地等のレジャー施設のある所、水泳・キャンプ・釣人等が多く集まるような河川利用が頻繁な地点

令和5年版_電気通信施設設計要領・同解説(通信編)より、抜粋

課題

表示板設置当初(平成21・22年)より、居住(地域)や生活状況が大きく変化していると考えられる

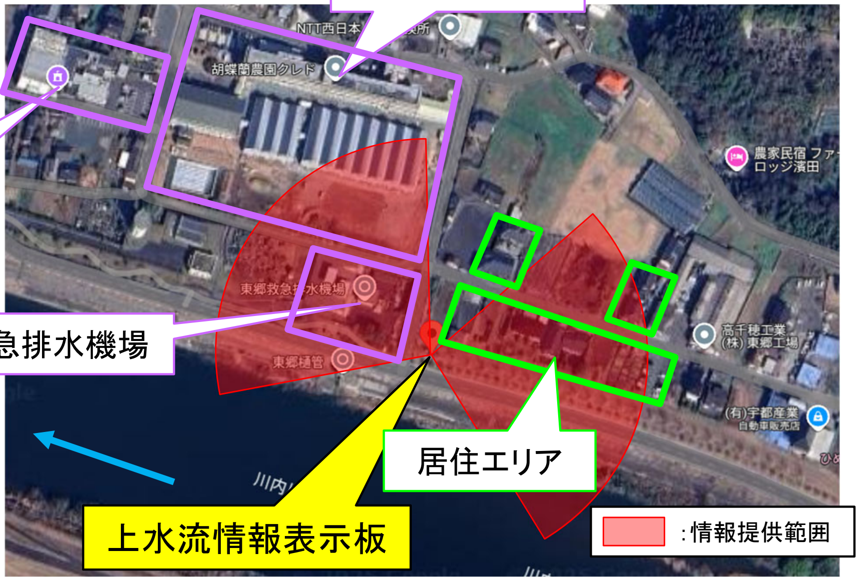
➡ **表示板の向き等の見直しによる、現在の居住状況に合わせた新たな情報提供範囲の設定が必要**

上水流情報表示板の更新について

上水流(上流・下流)情報表示板

現在は、**廃校利活用事業**(胡蝶蘭栽培を中心としたフラワー生産事業)がなされている。また、**農福連携**により、障害者や高齢者、生活困窮者の働き口を創出

現状



Googlemapより作成

現状の視認性(課題)

- 現状の情報提供範囲について、前面の道路、高水敷への搬路に対しては、広く情報提供できており、効果的であると考えられる(ただし、河川利用者は少ないと想定)
- 堤内地の生活道においては、住宅により一部、視認不可エリアが発生している状況である
- また、下流側については、排水機場や東郷中学校があるが、現在中学校は廃校となっており、廃校利活用事業が行われている状況にある(生活状況の変化)
- 下流側に、東郷公民館があるも、情報提供範囲外

改善点

上記の課題に対し、表示板向き及び面数を減らすことで、情報提供範囲の効率化が可能

見直し

上流の1面構成に改良

Googlemapより作成

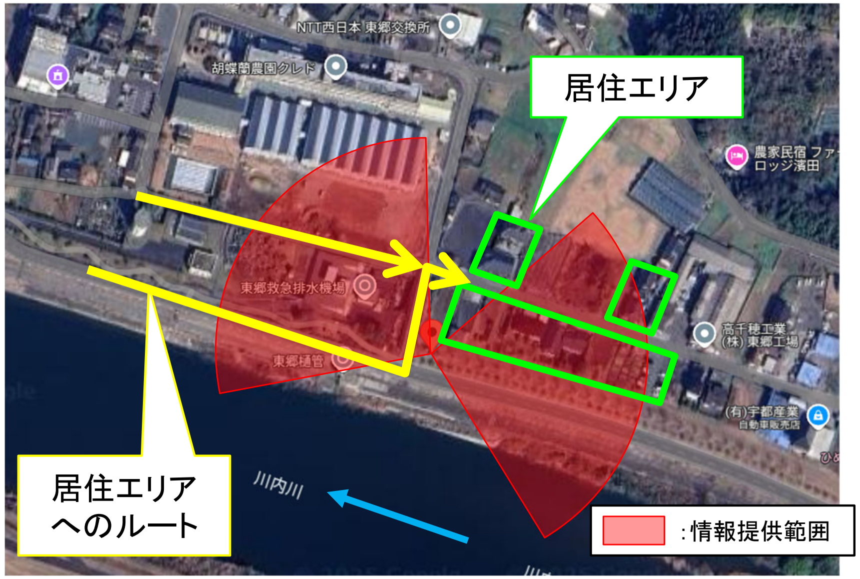
改良効果

- 1面構成に見直すことで、情報提供範囲は狭くなるが、必要な範囲に対してのみ効率的に情報提供することが可能
- 上流側から表示板位置(T字路)に進む車両・歩行者に対しては、情報提供が可能
- ただし、下流側への情報提供はなくなるため、下流側から向かってくる車両・歩行者に対しては情報提供できない

上水流情報表示板の更新について

地域のご意見

- 現在の下流側を向いている情報表示板は、居住エリアに住む住民が頻繁に使用する道路（黄色矢印ルート）から見える位置にある。
- ダムからの情報を直接得ている情報表示板であるため、減らさないで欲しい。



Googlemapより作成

⇒ **引き続き、個別に地域と調整させて頂き、調整結果を本意見交換会で報告する。**

４－４） 地域防災力向上の取組み

○さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

○斧渕地区防災訓練

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

＜背景＞

〇令和3年7月豪雨では、緊急放流に至りませんでしたが、ダム貯水位が、洪水時最高水位EL,160.0mに残り約6mまで迫るものでした。

〇このことから本会議において緊急放流の議論がなされ、緊急放流に関する情報発信時は避難行動をとることが重要との意見があり、虎居地区で「マイ・タイムライン（防災行動計画）」の作成を進めることとなった。

会議での意見

〇R4虎居地区マイ・タイムライン_ワークショップは非常に良い取組み。他地域でも是非実施してほしい

〇虎居地区で実施したことはトップランナー（九州では川内川流域が先駆者）としても非常に意義がある

R5以降の計画

＜さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進＞

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

さつま町（櫃ヶ迫（ひつがさこ）公民会）の町内一斉防災訓練

令和６年度 町内一斉防災訓練の取組状況報告書

（受付印：R6.5.27 さつま町）

公民会等名		【 櫃ヶ迫 】公民会・自主防災組織
防災訓練等の実施状況について	実施状況	（ ）実施済み （ ○ ）今後実施する予定 （ ）実施しない
	実 施 日	（ ○ ）５月 26 日町内一斉防災訓練の日に併せて実施した （ ）町内一斉防災訓練とは別に既に実施済み 実施日： 月 日 （ ）今後実施する予定 実施予定日： 月 日
	訓練内容	（例）①情報収集・伝達訓練，②消火訓練，③救出・救護訓練，④避難訓練，⑤避難行動要支援者の避難行動支援訓練，⑥危険箇所・消防水利等の点検 その他 ①情報収集、伝達訓練 ④避難訓練 ⑥その他、（マイタイムラインを作成して行動を）（各自）
	参加者数（予定）	地区住民 85 人 そ の 他 人 （ ）
【参考】自主防災組織に関する規約などについて ※任意で回答ください		自主防災組織に関する計画について ・自主防災組織に関する計画【 有 ・ 無 】（有に○） ・自主防災組織に関する規約【 有 ・ 無 】（有に○） ・自主防災組織内の連絡網【 有 ・ 無 】（有に○）

各家庭で作る **マイタイムライン**

川内川の氾濫に備えて早めの行動をとりましょう

町の防災無線放送をよく聞いて行動を起こしてください

公民会放送は，雨音・落雷などにより放送出来ない事があります

また，がけ崩れ・土砂災害が発生するかもしれません

避難経路は，防災マップ等を確認して避難してください

（避難は自らの判断で自分の命を守る最低限の行動を）

㊐ 緊急時の行動（大雨が降りそうな時）

レベル2

大雨・洪水注意報→気象情報・水位情報を確認する

レベル3

大雨・洪水警報→**高齢者等避難**・避難の準備をする

※（車での避難が出来ます）

レベル4

氾濫危険水位→**避難勧告・避難指示**（町防災無線）

※（車での避難ができません）

○ **この時までに避難を終える**

レベル5（洪水・災害発生）

大雨特別警報→**緊急安全確保**

さつま町におけるマイ・タイムライン の普及促進

さつま町（虎居西手公民会）の町内一斉防災訓練

令和６年度 町内一斉防災訓練の取組状況報告書 6.5.28 さつま町

公民会等名		【 虎居 西手 】公民会・自主防災組織
防災訓練等の実施状況について	実施状況	（ ○ ）実施済み （　）今後実施する予定 （　）実施しない
	実 施 日	（ ○ ）5 月 26 日町内一斉防災訓練の日に併せて実施した （　）町内一斉防災訓練とは別に既に実施済み 実施日：　月　日 （　）今後実施する予定 実施予定日：　月　日
	訓練内容	（例）①情報収集・伝達訓練，②消火訓練，③救出・救護訓練，④避難訓練，⑤避難行動要支援者の避難行動支援訓練，⑥危険箇所・消防水利等の点検 その他 日頃の備え、心構えについての座学 ①役場危機管理係の協力資料の内容説明 ②自分でまとめた資料の内容説明 ③警戒レベルと避難行動について(レベル3、レベル4) ④非常持出し品の点検 ⑤タンスの転倒防止対策(例をあげて図で説明)
	参加者数（予定）	地区住民 27 人 そ の 他 11 人 (仕事で参加出来なかった人に資料配布
【参考】自主防災組織に関する規約などについて ※任意で回答ください		自主防災組織に関する計画について ・自主防災組織に関する計画【 有 ・ 無 】 ・自主防災組織に関する規約【 有 ・ 無 】 ・自主防災組織内の連絡網【 有 ・ 無 】作成途中(確認のみ未)

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

さつま町（上向公民会）の町内一斉防災訓練

令和 6年度町内一斉防災訓練の取組状況報告書

令和6年5月26日 （さつま町）

提出先：　本庁総務課機器管理係　　FAX 0996-52-3514
上向公民会長　児玉富士生　070-9139-0904

公民会等名		上向公民会・自主防災組織（会員数　61戸数）
防訓練等の実施状況について	実施状況	実施済み
	実施日	令和6年5月26日町内一斉防災訓練の日に併せて実施した
	訓練内容	1、避難訓練 「避難勧告」発令後 「上向公民会自主防災連絡網」に従って、 公民会放送にて会員に避難訓練の実施を表明する。 ただ今8時5分から避難訓練を行います。" 避難時の非常持ち出し品厳選し、自宅の電源ブレーカーを切り、 ガスの元栓を閉めてから避難する。 ① 避難開始 午前8時15分 ② 避難集合 午前8時45分 ③ 班長報告 午前9時00分 ④ 情報共有 午前9時5分 警戒レベル4の避難指示で必ず避難する。 ①町が指定した避難場所　避難できる人数が限られる。 ②安全な親戚宅・知人宅・安全な旅館等避難先を決めておく。 ③災害時には、防災連絡網を活用する。 ④今回、自主防災組織活動事業(自主防災強化事業)費の 補助金を元に、ヘルメット6個・防災バッグ1個の購入を紹介し、 避難時の備蓄品・非常時持ち出し品等を定期的に チェックしていくことを呼びかけ、防災意識を高めた。 ⑤ 避難訓練終了 午前9時00分
	参加者数	上向公民会会員、各代表者　42人参加 参加できなかった会員には、班長さんを通じて、 「町内一斉防災訓練実施参加について」を配布した。
自主防災組織（公民会管理）備品		旧ヘルメット 3個 令和6年新たに購入品(自主防災強化事業費) ヘルメット 6 個 防災バッグ 1個
防災訓練等に関するご意見・ご要望		新型コロナウイス感染予防を考慮し、マスク着用で家族ごとに1m以上離れて移動し、 公民会会員全員による避難訓練を実施した。

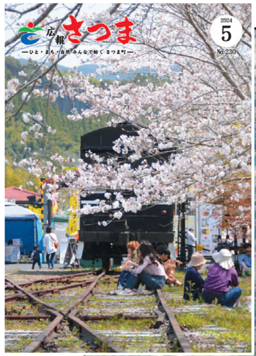
さつま町（吉川公民会）の町内一斉防災訓練

令和６年度 町内一斉防災訓練の取組状況報告書

公民会等名		【 吉川 】公民会・自主防災組織
防災訓練等の実施状況について	実施状況	（ ○ ）実施済み （　）今後実施する予定 （　）実施しない
	実施日	（ ○ ）5 月 26 日町内一斉防災訓練の日に併せて実施した （　）町内一斉防災訓練とは別に既に実施済み 実施日：　月　日 （　）今後実施する予定 実施予定日：　月　日
	訓練内容	(例) ①情報収集・伝達訓練, ②消火訓練, ③救出・救護訓練, ④避難訓練, ⑤避難行動要支援者の避難行動支援訓練, ⑥危険箇所・消防水利等の点検　その他 ④ ⑥ 点呼 要支援者の確認、大雨台風時期の避難誘導
	参加者数（予定）	地区住民　58 人 そ の 他　0 人（　）
【参考】自主防災組織に関する規約などについて ※任意で回答ください		自主防災組織に関する計画について ・自主防災組織に関する計画【 有 ・ (無) 】 ・自主防災組織に関する規約【 有 ・ (無) 】 ・自主防災組織内の連絡網　【 (有) ・ 無 】

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

広報さつまNo.230 2024.5より



本町の中心を流れる川内川。アユや山太郎ガニが獲れ、梅雨前はホタルを観賞できるなど、私たちに多くの恩恵をもたらします。しかし、過去に大規模な氾濫が発生し、脅威を与えたこともありました。現在では、鶴田ダム再開発事業や分水路の整備など災害に強い川づくりが行われてきましたが、近年の異常気象により、想像を超える災害が発生する可能性もあります。いつ起こるか分からない災害に備えて家庭でできる準備について考えてみましょう。

特集 防災を知る

虎居地区

虎居地区

神子地区（神子発電所）

平成18年7月に発生した県北部豪雨災害。停滞した梅雨前線の影響で、紫尾山の観測所では6日間に1，237ミリの記録的な大雨を観測しました。断続的に続いた大雨により川内川が氾濫。虎居地区や神子地区などの川内川付近の地域が甚大な被害を受けました。

警戒レベルで避難のタイミングを知る

大雨のときに5段階のレベルに分けた防災情報が発表されます。レベル1～2は気象庁が発表する注意報などを指し、レベル3以上は町が発令する避難情報となります。レベルごとのとるべき行動を覚えて逃げ遅れないようにしましょう。

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
心構え	避難行動確認	避難準備	すぐ避難	命の危険 安全確保
早期注意情報	大雨、洪水、高潮注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
防災情報を入手する	避難所や避難経路を確認する	高齢者以外も移動に時間のかかる人は避難する	危険な場所からすぐに全員避難する	すでに安全な避難ができず命が危険

レベル4までに必ず避難！

避難時に持っていくものを知る

水、食料、モバイルバッテリー、懐中電灯などは避難時に不可欠です。乳幼児がいる家庭はオムツや調理不要の離乳食、液体ミルクなどを準備しておくと良いでしょう。平常時からリュックに入れてすぐに持ち出せるように用意しておきましょう。

食料（3日分）

水（1日3リットル）

薬

ブランケット

モバイルバッテリー

懐中電灯

タオル

着替え

情報収集の手段を知る

災害時だけでなく、日頃から防災に関連する気象情報や避難情報を確認しましょう。

- さつま町公式LINE：発令中の避難情報や開設している避難所を知ることができます。
- 重ねるハザードマップ：浸水や土砂災害の危険区域が分かるハザードマップです。
- 早よ見やん川内川：雨量や鶴田ダム、川内川の水位を知ることができます。
- 鹿児島地方気象台：現在の雨量や今後の気象情報を知ることができます。
- Yahoo!防災速報：気象警報や大雨予報の通知を受け取ることができます。

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

広報さつまNo.230 2024.5より

マイタイムラインを作ってみよう

マイタイムラインとは？

マイタイムラインは、台風や大雨などによって河川の水位が上昇するときに、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて「どのタイミングで」「どう行動するのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画です。警戒レベルの意味や防災情報の収集方法などの必要な情報を知り、避難行動計画を作成しておくことで、いざ避難が必要となったときに落ち着いて行動することができます。

令和３年７月に大雨が降ったときは、自宅が浸水する恐れがあったので、町の指定避難所へ行きましたが、避難者が多くて入れず、親戚宅に避難しました。それからは、町の指定避難所以外にも親戚宅を避難先の選択肢に入れるようにしました。これまでも梅雨時期は天気予報や防災情報を確認し、いつでも避難できる準備をしようと心掛けていましたが、今後はマイタイムラインも活用して、適切な行動がとれるように普段から家族で備えたいです。幼い子どもが２人いるため、オムツやミルクなども備蓄して、避難生活にも対応できるようにしたいと思います。

山下さん家族のマイタイムライン

警戒レベル 2 注意報発表	・今後の気象予報を調べる ・川内川の水位情報を確認 ・子どもの避難の準備をする
警戒レベル 3 高齢者等避難	・川内川の水位情報を確認 ・避難所の場所を確認
警戒レベル 4 避難指示	・親族が避難したか確認 ・町の避難所か親戚宅へ避難

虎居地区に住む山下さん家族が挑戦

現在住んでいる家は川内川のすぐ近くで、氾濫時の想定浸水深は３～５ｍ。近所に佐和子さんの親族も住んでいる。

翔也（しょうや）さん　佐和子（さわこ）さん

福翔（ふくと）ちゃん（５か月）　結愛（ゆあ）ちゃん（１歳７か月）

ハザードマップを見ながら住んでいる場所の危険度をチェックしないとね！

警戒レベルに合わせて家族の行動計画を作成

防災専門官からアドバイス

平石 義和 防災専門官
安全・安心なまちづくりに向けたアドバイスを行います。

平常時の備えが防災への近道

今年１月１日に発生した能登半島地震は、最大震度７を記録し、死傷者１，４００人以上、住宅被害７万件以上と甚大な被害をもたらしました。改めて地震の怖さを実感されたことと思います。さつま町は、震度６弱が想定される南海トラフ地震などがあり、日頃からの備えがとても重要です。大災害時は警察・消防・自衛隊などの「公助」の迅速な救助は期待できません。そのため、家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分の命は自分で守る「自助」と、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」が大切です。普段から避難経路や防災気象情報の確認、３日分の食料や水などを備蓄することなどを話し合い、家族全員で心掛けていただきたいと思います。また、マイタイムラインは、事前に自分自身の防災行動を時系列で整理しておくことで、いざというときの行動を判断するのに大変有効で、普段から防災について考えることにもつながります。町ホームページに作成ツールを掲載していますので、ご家庭で作成いただき、出水期前などにご活用いただければと思います。

さつま町防災サイト　マイタイムライン

問 総務課 危機管理係　☎(0996) 24-8913

さつま町におけるマイ・タイムラインの普及促進

さつま町ホームページへの掲載

HOME | 気象情報 | ハザードマップ | 避難所 | ライフライン | 防災対策 | 被災者支援

現在の位置　ホーム > 防災サイト > 防災対策 > 日頃からの備え > マイタイムラインについて

マイタイムラインについて

いいね！　シェアする　ポスト　　更新日：2024年04月24日

マイタイムラインとは、台風や大雨等によって、河川の水位が上昇するときに、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「どのタイミングで」・「どう行動するのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画です。

警戒レベルの意味や防災情報の収集方法など、必要な情報を知っておき、非避難行動計画を作成しておくことで、いざ避難が必要となったときに落ち着いて行動することができます。

公民会や家族等で作成し、梅雨前などに確認しましょう。

マイタイムラインの作成様式は以下のとおりです。

マイタイムライン作成様式

- マイタイムライン様式 (PDFファイル: 727.9KB)
- 事前チェックシート (PDFファイル: 407.1KB)
- 防災行動パーツ (PDFファイル: 361.4KB)
- マイタイムライン活用方法 (PDFファイル: 330.4KB)
- 国土交通省ホームページ（外部リンク）

日頃からの備え

- 災害に備えて
- 土砂災害・台風災害に備えて
- 防災だより
- マイタイムラインについて

被害対象を減少させるための対策(浸水センサの活用)

浸水センサは令和3年7月豪雨時の住宅被害箇所を中心に設置しています。各地域でも避難や被害の目安として通知の登録をお願いします。

■事業の実施により実現したい地域像

①地区代表者（自主防災組織リーダー、消防団員、地域避難支援者など）が連絡を受けて避難判断や行動につなげることを想定

②通知登録には、町公式*LINE*での設定が必要なため、携帯電話での通知設定説明会を開催

③冠水による被害などのトラブルを回避・軽減や避難所開設・閉鎖の検討
など防災対応に活用

被害対象を減少させるための対策（防災情報の提供ほか）【さつま町】

■対策の内容

①洪水警報、氾濫注意情報など防災情報を自動配信に更新
外国語及びやさしい日本語の対応を追加し、外国人などにも配慮

②自主防災組織の訓練やマイタイムライン、防災計画の作成などを支援

③自主防災組織が自主的に開設する
地域住民がより身近な届出避難所を推進
現在　*16*ケ所登録

④防災士の資格取得を助成
（自己負担なし）
Ｒ5年度　３名に助成

資料2参照

（住民代表　宮地委員説明）

5．　情報提供

〇インフラツーリズムの取り組み

〇水防災学習プログラムの取組み

〇早よ見やん川内川

〇ラジオ媒体を活用した防災情報の発信

〇ほたる再生の取り組み

河川空間のオープン化指定（令和5年10月）

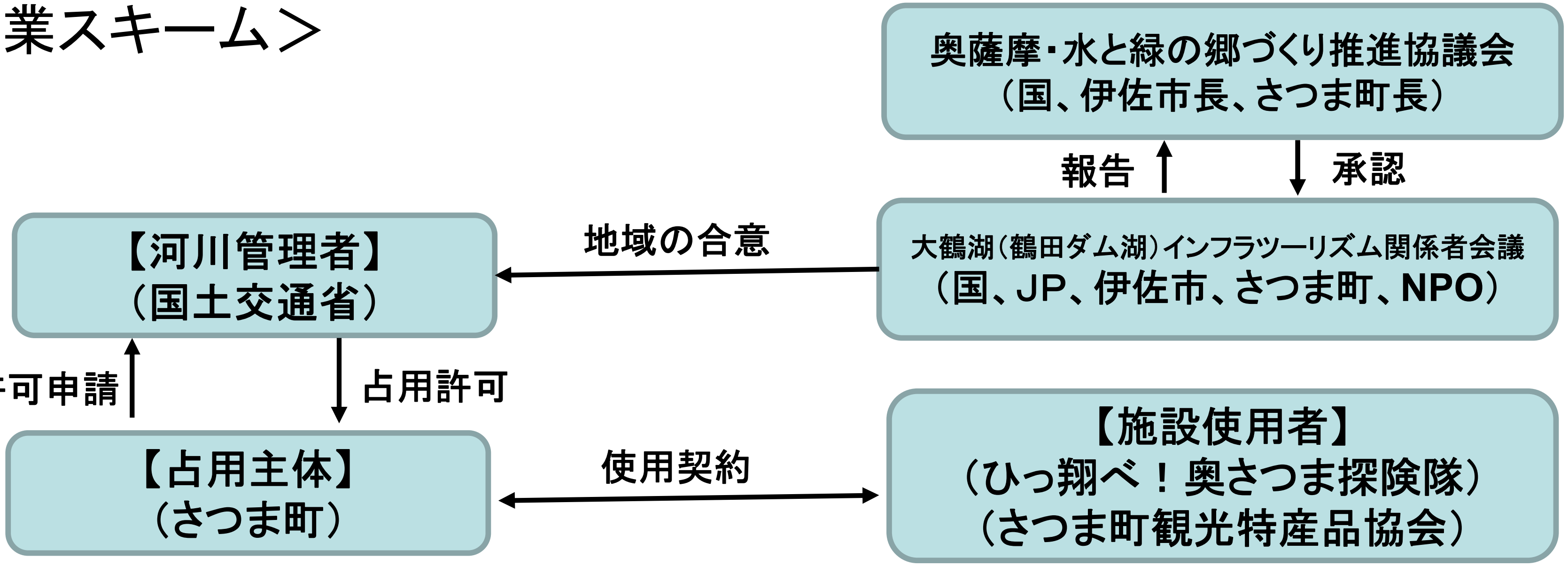
河川敷地の占用は、原則として公的主体（地方公共団体等）に限られており、営業活動を行うことはできません。

しかし「河川空間を積極的に活用したい」という要望の高まりを受け、平成23年に河川敷地占用許可準則（以下、「準則」という。）を改正し、一定の要件を満たす場合には、特例として民間事業者等も営業活動を行うことができるようになりました。 これを「河川空間のオープン化」といいます。

（全国108か所、 九州7か所、 鹿児島県内0か所　R4.3. 31現在）

今回の指定は鹿児島県ではじめて、ダム見学（河川管理施設の見学）は九州ではじめてです。

＜事業スキーム＞



【今回募集】

ダム見学案内ガイド（イメージ）

NPO法人　ひっ翔べ！奥さつま探険隊
○○○団体
○○○小学校
○○○
○○○

ダム見学案内ガイド　対応依頼

ダム見学　案内ガイド
（さつま町、鶴田ダム管理所により公募）

鶴田ダム　ダム見学対応状況

鶴田ダム見学の運用ルール

国土交通省 九州地方整備局 鶴田ダム管理所

1）実施主体　:さつま町「川内川大鶴ゆうゆう館」の管理事業にて実施
指定管理者: NPO法人 ひっ翔べ！奥さつま探険隊　※サポート:鶴田ダム管理所

2）見学日時　:平日及び第2、第4日曜日
・午前:11:00～12:00
・午後:14:00～15:00　※約1時間

3）予約　:NPO法人 ひっ翔べ！奥さつま探険隊ホームページより予約
※希望日の最低2週間前までに予約

https://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/go/kengaku_annai_new.html

4）集合場所　:鹿児島県薩摩郡さつま町神子3988-2　川内川大鶴ゆうゆう館前

5）料　金: 1）見学　1000円/1名
※子供（高校生以下）は無料。大人同伴が条件。
※団体割引あり（26名以上）
2）学校関係の社会科見学は、これまでどおり無料。
（平日のみ。見学時間も希望を受け付け）

【鶴田ダム】秋の大鶴湖まつりin2024開催（点検放流に合わせて）

○11月24日（日） 秋の大鶴湖まつりを開催し、来場者より好評を頂きました。
　今後も、通常のダム見学とあわせて、秋の奥薩摩の名物行事として関係者と連携しながら、地域振興・活躍の場の創出・防災力強化を目標に継続していきます。

（開催セレモニー）

（ダム放流・堤体内見学）

（大鶴湖　遊覧船）

■参加者数：延べ約660人（令和5年度：延べ約400人）
■主催者：大鶴湖（鶴田ダム湖）インフラツーリズム関係者会議
（鶴田ダム管理所、川内川河川事務所、九州防災エキスパート会、電源開発㈱、さつま町、伊佐市
ひっ翔べ！奥さつま探険隊、バイオマスワークあったらし会、水と地球、伊佐の風）

水防災河川学習プログラムの取り組み

●目的

検討会は、文科省の提唱したGIGA スクール構想に伴い薩摩川内市内の各小学校においてもICT 技術を活用した授業が進められている状況を踏まえ、そのような教育施策の変化に応じた新しい川内川水防災河川学習プログラムを検討し、防災学習活動の充実を図ることを目的とする。

GIGA スクール構想：全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。
ICT技術：パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法。

●組織（委員）と主な役割

川内川水防災河川学習プログラム　検討会

機　　　　　　関	主な役割
◆ 薩摩川内市立 育英小学校 ◆ 薩摩川内市立 可愛小学校 ◆ 薩摩川内市立 川内小学校	試行授業を行い児童の反応や教材の改善点の意見頂く
◆ 薩摩川内市 教育委員会	市内全小学校への普及
◆ 薩摩川内市 防災安全課	地域性のある防災教材の提供
◆ 鹿児島市教育委員会学校ICT 推進センター　所長 （文部科学省学校DX戦略アドバイザー） ◆ 株式会社LoiLo	ICT技術活用の助言
◆ 鹿児島大学 教育学部 准教授	学習内容や取組み全般の助言
◆ 川内川河川事務所	防災教材の提供、検討会全般の事務局

水防災河川学習プログラムの取り組み

広報誌作成

『川内川水防災河川学習プログラム』とは

６年間の小学校教育を通じて、児童が防災知識や災害における判断力を身に付けていくことができるよう体系的な防災学習プログラムです。教材は、教科書に沿った教材をはじめ、川内川や地域に関する魅力や過去の災害等に関する様々な教材を豊富に取り揃えています。特に、小学５年生の社会科単元「自然災害を防ぐ」、理科の単元「台風と天気の変化」・「流れる水のはたらき」については、地域に関する教材を組み合わせた授業案を作成しております。

また、近年、文部科学省が提唱したGIGAスクール構想に伴い、各小学校においてICT技術を活用した授業が進められている状況を踏まえ、各小学校で広く活用されているロイロノートを活用した学習プログラムとなっています。

川内川や地域に関する豊富な教材

授業案を用いた簡単な進行

地域の災害の学びによる防災意識の向上

『シンキングツール』による深い学び

学習プログラムで提供している教材（ダイジェスト版）

教材（資料箱）のダウンロード方法（簡易版）

①QRコードをスキャンし、データをダウンロード　②ロイロノートを開き資料箱をクリック　③「・・・」→「アップロード」の順にクリック　④ダウンロードしたデータを選択し「開く」をクリック

川内川水防災河川学習プログラムは他にも多数の資料等を整理しています。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

川内川水防災河川学習プログラム　検索　QR

https://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai_info/kyouzai/program/index.html

【お問い合わせ先】　川内川河川事務所　流域治水課　水防企画係　TEL 0996-22-3271(代)

①QRコードをスキャンし、データをダウンロード　②資料箱をクリック　③「・・・」→「アップロード」の順にクリック　④ダウンロードしたデータを選択し「開く」をクリック

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

川内川水防災河川学習プログラム　検索　QR

https://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai_info/kyouzai/program/index.html

【お問い合わせ先】　川内川河川事務所　流域治水課　TEL 0996-22-3271(代)

【PC版】

川内川リアルタイム防災情報

早よ見やん川内川

PC版

雨が降り始めたら、まずチェック！

検索！ はよみやん川内川 検索

URL http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html

＼パソコンで分かる／
リアルタイムな
防災情報！

普段は優しく流れる川内川でも突然の豪雨や思いもしない災害で全く別の顔を見せることがあります。「早よ見やん川内川」は、そんな川内川の防災情報をリアルタイムで見ることができます。

閲覧できる情報

- **ライブカメラ**：川内川流域に設置されたライブカメラから河川の様子をご覧いただけます。
- **レーダーデータ**：九州南部・川内川流域の雨量レーダを確認することができます。
- **雨量観測所**：川内川流域の雨量を確認することができます。
- **水位観測所**：各観測所から10分毎及び1時間毎に水位を確認することができます。

※青色のアイコンはスマホ版での表示になります。

国土交通省 九州地方整備局
川内川河川事務所
〒895-0075
鹿児島県薩摩川内市東大小路町20-2 TEL 0996-22-3271（代）

サイトの見方

大雨や洪水の時に役立つ「川の防災情報」を提供しております。ぜひご活用ください。

ライブカメラ

川の様子がわかる！

ライブカメラの映像で、現在の川の様子が分かり、川に近づかなくても状況を知ることができます。

① 自治体名をクリックするとカメラ配置が表示されます。

レーダーデータ

雨の様子がわかる！

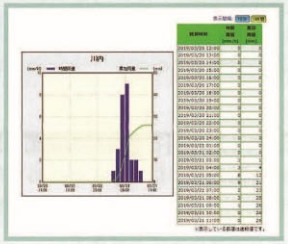
今、どこでどれくらいの雨が降っているのかを知ることができます。

① こちらをクリックすると「九州南部」「川内川流域」を選ぶことができ、表示範囲の切り替えができます。

② 雨量は色別で確認することができます。

200mm(h)～	～80	～20	0
～200	～50	～10	欠測
～150	～40	～5	
～100	～30	～1	

雨量観測所



雨量がわかる！

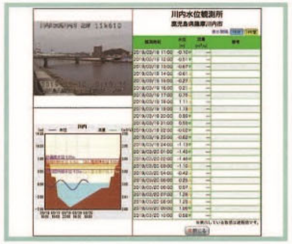
今、どこでどれくらいの雨が降っているのかを知ることができます。

■51mm～
バケツをひっくり返したような激しい雨です。山崩れだけでなく河川の氾濫など、水害の恐れが高まります。

■31mm～50mm
土砂降り。傘をさしていても濡れてしまうほどの降りかたです。下水があふれ、小さな河川の氾濫や、崖崩れの心配もあります。テレビ・ラジオなどで今後の様子に注意し、長引きそうなら避難の心構えを。

■～30mm
10mm程度で雨音がよく聞こえ、地面に水たまりができます。20mm～30mmになると水たまりは地面一面に広がり、会話が聞き取りにくくなります。

水位観測所



川の水位がわかる！

川に設置した水位計で、近くの川の水位がどのような状況になっているのかを、リアルタイムで確認することができます。

■レベル4（氾濫危険水位）
市町村長による避難勧告等の発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考になる水位。

■レベル3（避難判断水位）
市町村長による避難準備情報の発令判断の目安であり、住民の氾濫に関する情報への注意喚起になる水位。

■レベル2（氾濫注意水位）
のり崩れ、洗掘、漏水などの災害が発生する危険性がある水位。水防団が出動して河川の警戒にあたる水位。

■レベル1（水防団待機水位）
水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位。

河川カメラ設置場所

- 薩摩川内市…21箇所
- さつま町……7箇所
- 伊佐市………12箇所
- 湧水町………7箇所
- えびの市……10箇所

【スマホ版】

川内川リアルタイム防災情報
早よ見やん川内川
スマホ版
雨が降り始めたら、まずチェック！
緊急
川内川河川事務所
川内川リアルタイム防災情報
早よ見やん川内川
水位
雨量
レーダ雨量
河川映像
ダム情報
警報・予報
QRコードを読み取ってアクセス！
URL
http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/sp/index.html
スマホで分かる
リアルタイムな
防災情報！
普段は優しく流れる川内川でも突然の豪雨や思いもしない災害で全く別の顔を見せることがあります。「早よ見やん川内川」は、そんな川内川の防災情報をリアルタイムで見ることができます。
閲覧できる情報
水位
各観測所から10分及び1時間毎に水位を確認することができます。
雨量
川内川流域の雨量を確認することができます。
レーダ雨量
川内川流域の雨量レーダを確認することができます。
河川映像
川内川流域に設置されたライブカメラから河川の様子をご覧いただけます。
ダム情報
鶴田ダムの貯水位や貯水量及び放流量などを確認することができます。
警報・予報
川内川に関する洪水予報及び水防警報などを確認することができます。
国土交通省 九州地方整備局
川内川河川事務所
〒895-0075
鹿児島県薩摩川内市東大小路町20-2 TEL 0996-22-3271(代)

サイトの見方
クリックで見ることができる情報です
水位
雨量
レーダ雨量
河川映像
ダム情報
警報・予報
大雨や洪水の時に役立つ「川の防災情報」を提供しております。ぜひご活用ください。
河川映像
「河川映像」のアイコンをタップし、ライブカメラ一覧から各河川カメラ設置場所をクリックすると「河川映像」がご覧いただけます。
河川カメラ設置場所
薩摩川内市…21箇所
湧水町………7箇所
さつま町……7箇所
えびの市……10箇所
伊佐市………12箇所
水位
「水位」のアイコンをタップし、水位情報から各観測地をクリックすると「現在の水位」「水位履歴」をご覧いただけます。
雨量
「雨量」のアイコンをタップし、雨量情報から各観測地をタップすると「現在の雨量」「雨量履歴」「雨量グラフ」をご覧いただけます。
レーダ雨量
レーダ雨量情報
「レーダ雨量」のアイコンをタップし、現在より3時間前から3時間後の雨雲の様子を見ることができます。
全流域・川内川上流・川内川下流がご覧いただけます。
警報・予報
「警報・予報」のアイコンをタップし、お知らせがある場合はこちらに表示されます。
水防警報は下記のレベルが基準になります。
レベル5 氾濫の発生
レベル4（危険）氾濫危険水位
レベル3（警戒）避難判断水位
レベル2（注意）氾濫注意水位
レベル1 水防団待機水位
ダム
ダム情報
鶴田ダム情報
貯水位 130.61m
貯水量 17511千m3
流入量 26.61m3/s
全放流量 47.00m3/s
発電使用水量 47.00m3/s
ダム放流量 0.00m3/s
有効貯水率 18.3%
利水貯水率 18.3%
鶴田ダムの「貯水位・貯水量」や「放流量」などを確認することができます。
放流量が増えたら川内川の水位が上がります。

ラジオ媒体を活用した防災情報の発信（川内川河川事務所）

背景・趣旨

〇住民向けの防災（川内川）情報発信は、HPやTwitter等のSNSを通じてのみ行っている。
〇住民の円滑な避難行動に資するためには、多様な情報発信方法を活用するのが命題。
〇幅広い情報発信網の構築を目指すため『FMさつませんだい』と連携した取組みを模索。

FMさつませんだい

＜放送概要＞ 地域の生活・行政情報や独自の地元情報に特化し地域密着型の放送毎日24時間放送を実施

＜地域防災に積極的＞ 災害時等には番組内容を変更し住民が必要とする情報を放送

＜放送エリア＞ 薩摩川内市及びさつま町を中心に伊佐市大口付近まで受信可能

防災情報に関する協定

協定締結

川内川河川事務所

FMさつませんだい

FMさつませんだい 87.1 MHz

・情報に**切迫感**を持たせたい。
・情報取得の**簡素化の実現。**
・広域住民全体を対象とした**広域な情報発信**の実現

R5.2.22 協定締結式

・水害時河川に関する**詳しい情報を入手できていない。**
・リアルタイムに河川情報を取得し**迅速な情報発信**

地域住民の避難等に寄与する情報の発信へ！！

平常時

取組紹介

啓発活動

イベント

地域活動

流域治水に関する情報も発信

ラジオ媒体を活用した防災情報の発信（川内川河川事務所）

コミュニティ放送局と協力し防災情報へアクセスするためのきっかけを作る

〈水位レベル2～3〉
氾濫注意水位を突破
今後さらに水位上昇の恐れ

ラジオを通じて地域住民に情報発信

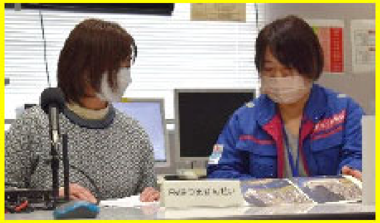
1

ラジオに情報提供

2
ラジオより情報発信

〈水位レベル4～5〉
氾濫危険数位に達する見込み
大規模災害発生の恐れ

河川事務所からラジオの中継放送

1

河川事務所にラジオ担当者参集

2

河川事務所より中継放送

FMさつませんだいに、
リスナーから
川内川に関する投稿

河川事務所が把握できていない情報を入手

1

リスナー情報をメールで確認

2

状況把握、関係機関との共有
防災エキスパート会からの助言

日頃から川内川に興味を持ってもらうきっかけとして、**月1回ラジオ出演による情報発信が決定！**

毎月 第4水曜日 10：00～
FMさつませんだい『せんだい川のほとりから』

川内川河川事務所職員が出演し、川内川に関するあれやこれやを楽しく語る番組です！

○令和5年度

放送に向けた準備や番組への出演は若手職員が中心となって行っています！

4月：堤防のSDGs
5月：地域を守る人々
6月：命を守る行動
7月：夏休み川内川を楽しもう
8月：水生生物調査
9月：燃ゆる感動かごしま国体
10月：建設業の魅力
11月：下流域の団体紹介
12月：上流域の団体紹介
1月：中流域の団体紹介
2月：TECとドローン
3月：ダムの話

○令和6年度

1～6月

《洪水に備える》

出水期に向けた川内川河川事務所の取り組みや、地域の方々に取っていただきたい行動について紹介しています。

1月：水防災学習プログラム
2月：ダムの話（予定）
3月：出水期に向けて（予定）
4月：事務所の取組み
5月：地域を守る人々
6月：点検等の話

7月～12月

《川内川の魅力・見どころ》

川内川のおすすめスポットやイベント情報など、親しみやすい川の一面を発信しています。

7月：夏休み川内川を楽しもう
8月：水生生物調査
9月：SAGA国スポ
10月：土木の日
11月：川内川の地形・光景
12月：工事紹介

番組へのお便り

・大変な時期が続きますが、お互いに体に気を付けて頑張ってこの雨の季節を乗り切りましょう
・いつも仕事中に聞いています！
・川を見るポイントは専門家はやはり違うなと感じた次第です。
・宮崎から聞いています！曽木の滝発電所、プチ旅行で見に行こうと思います。

等々

ほたる再生の取り組み（さつま町）

背 景

〇川内川流域（さつま町）、全国有数のホタル観賞地であり、一級河川でホタルが群舞するのは全国的に珍しく、さつま町を代表する観光資源となっている。

〇現在、さつま町全体でホタルの個体数が減少しており、ホタル舟の運営スタッフの高齢化も相まって二渡ホタル舟は令和5年シーズンで活動を終了することになった。

〇水辺環境の保全・創出、ほたるを中心とした観光資源を増やすことを目的に「ほたる再生プロジェクト協議会（R6.5.20）と幹事会（第１回R6.8.20、第２回R6.10.25）」を開催。

▼ほたる再生プロジェクト協議会設立（R6.5.20）

▼ほたる再生プロジェクト協議会幹事会開催

R6.10.25第２回幹事会

渡辺教授（福岡大学）
現地視察状況

▼ほたる再生プロジェクト協議会委員

職名	所属等	備考
会長	さつま町長	
副会長	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所長	
委員	鹿児島県北薩地域振興局総務企画部長	
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所長	
委員	電源開発㈱南九州電力所長	
委員	さつま町副町長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所技術副所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所宮之城出張所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所専門官	幹事会委員
委員	鹿児島県北薩地域振興局河川港湾課長	幹事会委員
委員	鹿児島大学水産学部教授	幹事会委員
委員	川内川漁業協同組合組合長	幹事会委員
委員	奥薩摩ホタルを守る会会長	幹事会委員
委員	二渡がらっぱボタルの会	幹事会委員
委員	公益財団法人かごしま環境未来財団理事兼事業課長	幹事会委員
委員	学識経験者	幹事会委員
委員	さつま町女性団体連絡協議会	幹事会委員
委員	さつま町総合政策課長	幹事会委員
委員	さつま町町民環境課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会教育総務課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会学校教育課長	幹事会委員
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課長	
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課専門官	
事務局員	さつま町さつまＰＲ課長	
事務局員	さつま町さつまＰＲ課商工観光係長	
事務局員	さつま町さつまＰＲ課商工観光係	

令和６年度斧渕地区自主防災避難訓練の概要

（目的）

いつどこで災害が発生してもおかしくない状況の中、共助という考えから地区コミュニティの自主防災組織が、いざという時に自分たちのまちを守る活動が出来るよう、防災関係機関と連携してさまざまな訓練を行い、災害に対する認識を新たにし、防災減災に努める。

①まず逃げる、まず自分の命を守る。（自助）
②隣近所に声をかける。（共助）
③自治会自主防災組織による避難誘導（組織がいかされているか）
以上３点を主として訓練を行う。

（実施日時）

令和６年５月２６日（日）　午前８時３０分から１２時
豪雨による川内川の氾濫、土砂災害を想定

（訓練主体・支援団体）

訓練主体　斧渕地区１３自治会自主防災組織　　斧渕地区コミュニティ協議会
支援団体　薩摩川内市、薩摩川内市消防局　薩摩川内市消防団東郷中央分団
国土交通省川内川河川事務所
鹿児島県　薩摩川内警察署　薩摩川内市社会福祉協議会

（避難会場）

東郷学園義務教育学校（避難訓練中央会場）	自治会名：舟倉、平上水流、古城滑石、荒川内東西、石堂
城内集落センター	自治会名：小路、城内、谷ノ口
浦田自治会館	自治会名：浦田
五社上構造改善センター	自治会名：五社上
五社下自治会館	自治会名：五社下
司野自治公民館	自治会名：司野

（避難訓練の内容）

避難場所への避難訓練
・人を知る、地域を知る、避難をする訓練（動く訓練）
炊き出し訓練
・各避難所での炊き出し
消火器取扱訓練（消防団東郷中央分団支援）
応急手当訓練（中央会場のみ・市消防局支援）
・簡易担架の作り方
防災情報の取得、紹介（川内川河川事務所・ＮＰＯ法人）
・防災情報アプリ「早よ見やん川内川」の取得方法と活用促進（中央会場）
・ＮＰＯ法人による事例発表（能登半島地震への対応と防災グッズの紹介）

◇事前の会議

4/30　斧渕地区自主防災組織会議（第１回目）
5/ 6　斧渕地区コミ自主防災総務部会
5/ 9　斧渕地区自主防災連絡会議（支援団体との協議調整）
5/15　斧渕地区自主防災組織会議（第２回目）

〇訓練における感想、課題

各行政等組織の連絡体制等を含めた支援のもとに訓練を行った。避難訓練自体は事前に周知されていたので、スムーズに避難ができたと思うが、実際の有事の際に自主防災組織を機能させるために、また確実な避難のための自主防災組織への連絡体制、連絡方法、自主防災組織内の連絡方法など再確認の必要性を感じた。

★　斧渕地区自治会自主防災避難訓練

時系列

令和6年5月26日

	時間・行動	参加者等の動き
午前 8時30分	炊き出し準備	避難場所　　　避難自治会 ・東郷総合体育施設 舟倉・古城滑石・平上水流・荒川内東西・石堂 ・城内自治公民館・・・小路・城内・谷ノ口 ・浦田自治公民館・・・浦田 ・五社上構造改善センター・・・五社上 ・五社下自治公民館・・・五社下 ・司野自治公民館・・・司野
9時20分	斧渕自主防災対策本部設置	・自主防災対策本部員集合　会議開催
9時20分	**各自治会自主防災組織招集**	・自治会長・防災委員・防災班長 自治公民館・自治会長宅に集合
9時55分	斧渕自主防災対策本部 自主避難を決定	・自治会自主防災組織に自主避難を指示
10時00分	**各自治会自主防災組織自主避難開始** **住民避難開始**	・各自治会長 防災委員・防災班長に自主避難指示
11時00分	住民避難終了	
11時10分 その後	自治会自主防災組織避難者確認報告 避難所　東郷学園義務教育学校 城内自治公民館 浦田自治公民館 五社上構造改善センター 五社下自治公民館 司野自治公民館	・各自治会防災委員・防災班長　避難者確認作業 ・各自治会長に避難者報告 ・斧渕地区自主防災対策本部に避難者報告
11時10分	避難所でのプログラム 東郷学園義務教育学校	・河川事務所　防災情報収集方法について ・消防局　防災減災体験指導 簡易担架のつくり方 ・自主防災組織　炊き出し訓練・試食
	城内自治公民館 浦田自治公民館 五社上構造改善センター 五社下自治公民館 司野自治公民館	消火訓練 炊き出し訓練・試食 NPO法人活動事例報告・防災グッズ紹介

斧渕地区自主防災組織図

斧渕地区コミュニティ協議会
13自治会自主防災組織

行政・消防・警察
- 薩摩川内市東郷支所 斧渕詰所長
- 薩摩川内市消防団 東郷中央分団

防災計画審議

斧渕地区 自主防災連絡会議
自主防災会議

情報連絡・避難状況報告

斧渕地区自主防災対策本部

本部長　斧渕地区コミ会長
副本部長　地区コミ副会長・総務部長
顧問　防災担当顧問・行政担当顧問
事務局　事務局長・総務部副部長
構成員　青少年育成・健康福祉・地域づくり各部長
あすなろ会　斧渕パトロール隊

避難・連絡 ↓　　避難者報告 ↑

事務局
本部長
事務局長

13自治会自主防災組織

会長　自治会長
構成員　防災員・女性部長・防災班長

避難・連絡
指示 ↓　　避難者報告 ↑

自治会班長（防災）連絡員

避難・連絡
避難呼びかけ ↓　　避難者報告
避難者確認 ↕

自治会住民

避難
移動 ↓

自助
共助
近助（近所）
公助

避難場所

炊き出し

東郷学園義務教育学校
城内公民館
浦田自民館
五社上構造改善センター
五社下公民館
司野公民館